

広島県中小企業団体中央会 2018年6月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

6月の出荷量は前月比21.1%減少、前年同月比0.9%減少となり、売上高は前月比19.1%減少、前年同月比4.9%減少となった。

木材・木製品

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

<全国>

- ・平成30年5月の住宅着工戸数は79,539戸で前年同月比1.3%増加
- ・季節調整済年率換算値では99.6万戸(前月比0.4%増加)
- ・利用関係別では、持家は23,321戸で前年同月比2.2%減少、貸家は31,083戸で前年同月比5.7%減少、分譲住宅は23,944戸で前年同月比12.2%増加
- ・木造住宅の着工数は43,399戸で前年同月比3.0%減少となった
- ・住宅着工の動向については、前年同月比で2か月連続の増加であったが、持家・貸家は減少であった

<広島>

- ・県内の5月の着工戸数は1,503戸で前年比33.5%減少、このうち持家は429戸で前年比4.0%減少、貸家は543戸で前年比15.0%減少、分譲は453戸で前年比61.4%減少
- ・県全体の住宅着工動向は前年同月比で2か月連続の減少となり、昨年後半から繁忙を極めたプレカットも勢いはない
- ・地域別では広島市が着工戸数726戸で49.9%減少、東広島市が81戸で43.4%減少、廿日市市が36戸で68.1%減少となった一方、福山市は379戸で48.6%増加、呉市は56戸で9.8%増加、尾道市は50戸で56.3%増加と地域ごとにばらつきがある結果となった。全体としては新年度予算執行への期待感や先行き受注確保にもそれほど不安はないが、将来的に住宅着工戸数の減少が確実な中、経営規模や業態によって景況感に偏りがある聞き取り結果となっており、依然中小会員の経営環境は厳しく、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

福山木材協同組合

今春の景況が悪化していたため、今月からは春の仕事がずれ込むことが見込まれることに加え、例年秋に向け受注増となることから、今後好況となる見込みである。

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

今月の売上は前月比、前年同月比共に減少した。紙への印刷が減少している。

平成29年度補正ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金の採否の発表があった。県内印刷業者は10社程度採択されたと思われる。

厳しい時代であるため、背中を押してくれる補助金は事業者にとっては有益である。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月から特に変化はない。

自動車や鉄鋼の関税率引き上げなどにおいて、米朝会談による経済的好影響は感じられない。仕事量が減少すれば赤字になる状況にあり、損益分岐点自体を製造部門だけでなく、各部門が真摯に意識し引き下げていく努力が必要である。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

自動車関連の売上は、堅調に推移している。他分野は低迷している。

各社人手不足の状態でも苦慮している。また、社内の人材育成のため、各種講習等教育訓練に取り組んでいるようである。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

30年6月 2,646m³ (前年比25.7%減少)

30年5月 2,874m³

29年6月 3,559m³

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

靱鉄鋼協同組合連合会

原材料、燃料が高騰し、収益を圧迫している状況が続いている。

一般機器

●一般機械器具

出島工業会協同組合

今月の売上は前月比増加と、やや好況に推移している。

組合の課題としては、役員の高齢化及び世代交代である。

広島県東部機械金属工業協同組合

今月は、自動車及び駆動系の好況及びスポット受注による増減と出荷時期の変更により、前月比37.0%増加、前年同月比30.0%増加となった。

電気機器

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月は、前月比6.7%減少、前年同月比19.1%増加となった。昨年5月は輸出が低迷していたため、前年同月比増加となったが、前月比で見るとあまり変化はない。

輸送用機器

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客（マツダ）の下記業況に比例している。マツダの国内生産台数が継続して高レベルにあるため、好況を維持

- ・6月の国内自動車販売台数は全需が454千台、前年同月比5.0%減少と2ヶ月連続の前年割れ。登録車は前年比7.3%減少と2ヶ月連続の前年割れ、軽自動車は0.4%減少と3ヶ月振りの前年割れ。マツダ車は16.1%増加と4ヶ月連続の前年超え
- ・アメリカの5月の全需は1,593千台で前年同月比4.8%増加と2ヶ月振りの前年超え。マツダ車も同15.1%増加と2ヶ月振りの前年超え
- ・欧州の5月の全需は1,633千台で、前年同月比1.0%増加と2ヶ月連続の前年超え。マツダ車も同1.9%

増加と8ヶ月連続の前年超え

- ・中国の5月の全需は2,139千台で、前年同月比2.1%増加。マツダ車は同2.4%減少と2ヶ月振りの前年割れ
- ・上記各地域の状況下、マツダ車の5月の海外販売合計台数は122千台、前年同月比7.2%増加と5ヶ月連続の前年超え
- ・マツダの5月の輸出動向については、輸出台数は前年比13.0%増加と5ヶ月連続の前年超え
- ・マツダの5月の国内生産台数は、前年同月比13.5%増加と2ヶ月連続の前年超え

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成30年6月の船舶建造許可実績は3隻174,100総トン（前月3隻332,000総トン、前年同月3隻96,700総トン）であった。なお、内訳は国内船が2隻で全てが貨物船、輸出船は1隻で貨物船であった。

（一社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

その他

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

特に変化はない。なかなか景況感が上向かない。来月は九州大川で展示会があり、組合員4社が参加する予定である。

クリーンウッド法が施行になり、企業としてもサステナビリティを守るため、法令遵守の必要があることは理解できるが事業者の費用負担が増えている。事業者の理解とコンセンサスが必要である。

7月、8月は特に大きな動きはない予想である。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

石油製品の値上げと運賃値上げの影響から全業種にわたり収益状況は厳しい。

「資材関連」においては、公共工事は件数が増加するも請負金額は減少。

「雑貨」においては、日用雑貨は販売苦戦中、紙卸も売上・収益共に厳しい。

「食品」においては、外食産業向けは前年比減少傾向が継続している。一部商品値上げの影響あり。

「繊維」においては、前年同月比横ばいとなっている。

従業員の高齢化、新規採用の低調等、人材確保に苦慮している企業が多い。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

広島県の4月の着工状況は、前年比9.1%減少。内訳としては、持家が5.2%減少、分譲は19.4%減少、貸家が2.6%減少。全体的に減少傾向であり、先々の景況感に影響がでる可能性がある。

来年10月の消費税率引き上げによる駆け込み需要の動向を注視していく。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

5月末で1店舗閉店、7月末で1社廃業するとのことである。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

国産い草の主産地熊本では、6月中旬からい草の刈り取り作業に入った。い草の実入りは良いが、草丈がやや短い。7月中旬まで刈り取り作業は続く。

備後では、7月中旬頃より刈り取り予定である。草丈は順調に伸びており、特に北部では既に1.5m程度となっている。

市場は売上見込みが減少しており、在庫を多く持たないために入用分を買っている状況である。

市場は売上見込みが減少しており、在庫を多く持たないために入用分を買っている状況である。

小売業

●各種商品小売業

協同組合三次ショッピングセンター

今月の来街者数は前月比変化なし。昨年よりイベント回数を増やしたことにより、3分の1の店舗の売上は前年比増加となった。しかし全体としてはわずかに減少した。

今春より始めた地元ケーブルテレビでのイベント宣伝効果が出ているのではないかと思われる。

広島生鮮三品連絡協議会

販売価格は、青果は低下傾向、鮮魚は上昇傾向である。

鮮魚は、主要商材のひとつである養殖魚の仕入値の上昇や、いか類の相場高が続き、収益確保に影響が出始めている。値上げ等していかなければ売上確保に苦慮する業者が増えることが予想される。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比1.2%増加となった。商品別では、液晶テレビ前年同月比3.5%増加、冷蔵庫同0.1%増加、洗濯機同4.2%増加、IHクッキングヒーター同0.8%増加、電気温水器同0.6%減少、エアコン同6.2%増加となった。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

OPEC総会で協調減産の緩和が決定されたが、原油市場では“買い”が進み、原油高は抑えられていない。仕入価格も高止まりしている。販売量の落ち込みが大きく、値下げに踏み切る小売業者も出始め、市況が低下した地域が出ている。販売量も利益も減少している。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

広島金座街商店街振興組合

商店街内の退店が3店（4月～6月）、新規出店と出店準備店が各2店と店舗の入れ替わりが激しい。

呉本通商店街振興組合

本通2丁目の駐車場（約350坪）が地盤調査の名目で閉鎖された。跡地にはドラッグストア等の商用施設が建設される予定である。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比17.5%増加、前年同月比5.0%減少。車検場収入は前月比17.7%増加、前年同月比4.8%減少。重量税・登録印紙の売上は前月比12.6%増加、前年比12.6%減少となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

全体的に業界の動きが鈍く、比例して売上も減少した。

特に目立った動きはないが、前月に比べると今月は上昇すると思われる。

依然として人材不足であり、人材確保が困難である。

建設業

●工事業

神辺建設業協同組合

公共事業を中心に、上半期大型物件の発注が増加傾向にある。

その他、中小規模案件の発注も増加傾向にあるため、各社受注に向け意欲的である。建設資材の価格見直しもわずかながら上昇傾向にあり、今後適正価格への価格改正に期待したい。

福山地区電気工事業協同組合

6月の工事申込件数は前月比10.1%増加、前年同月比3.4%増加。

今月の申込み件数は359件で前月比、前年同月比共に増加。新築住宅の申込みは前月と比べ、大きく減少した。リフォームによる契約変更申込が主体となっているものと思われる。

電気工事業界の活性化には、住宅業界の着工件数が増加することが必須である。新築・リフォームに負担が少なくなるような助成制度が望まれる。

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目について、今月は前月比43.2%増加、前年同月比5.7%減少した。年度が変わり、3ヶ月経過の前年累計比でも17.6%減少と依然前年割れしている。先月に引き続き敷物だけが順調に伸びている。

新築物件数が減少傾向にある。

運輸業

●道路貨物運送業

協同組合尾道地区総合トラックセンター

6月の荷動きに大きな変化はなかった。食料品関連の動きは引き続き順調である。燃料価格はわずかながら上昇し、来月も上昇傾向であり、収益悪化が懸念される。

松永地区トラック事業協同組合

6月の貨物輸送量、売上高は前月比減少、前年同月比変化なしとなった。収益は前月比減少となった。

以前は貨物輸送量が減少する閑散期は、2月、8月であったが、近年は梅雨時の6月、7月となっている。

収益状況の悪化原因は、貨物量が減少している上に、軽油価格の上昇によるものである。毎月軽油価格は上昇しており、得意先に対して運賃値上げは以前から要請しているが、軽油単価がこれ以上上昇するようであれば、取引をこのまま継続するか否かの選択を強いられる状況である。

広島輸送ターミナル協同組合

6月は、米中貿易摩擦拡大への警戒感と大阪府北部で発生した地震の影響等で物流の動きが悪かった。さらに、原油高による燃料費高騰により収益状況が悪化した。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月比、前年同月比ともに変化なし。

来月は、公的評価(地価調査等)により仕事量が増加する予定である。